

[05-05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468009>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (5), 1972-10-16. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

SSL VERSION UP および LEVEL UP について

先にセンターニュース No.41 でお知らせしましたが、8月7日より、FORTRAN が Version up, ALGOL が Level up され、

SSL.F-V4.L2 (FORTRAN)

SSL.A-V3.L10 (ALGOL)

となりました。

最新のマニュアルは

- ① FACOM 230-60 SSL 使用方法解説書 FORTRAN 編 第7版
(資料番号 230/60-301~309-001-7)
- ② FACOM 230-60 SSL 使用方法解説書 ALGOL 編 第4版
(資料番号 230/60-301~309-002-4)
- ③ FACOM 230-60 SSL 解法解説書 第5版
(資料番号 000-301~309-003-5)

となります。

(1) SSL.F-V4.L2 で追加登録された項目

分類コード	呼び出し名		プログラム名
	単精度	倍精度	
B/028	HERMIS	HERMID	エルミートの多項式
B/029	LAGUES	LAGUED	ラゲールの多項式
B/030	JACBIS	JACBID	ヤコビの多項式
B/031	QKKEES	QKKEED	完全楕円積分第1種、第2種
B/032	THETAS	THETAD	楕円 ϑ (テータ) 関数
B/033	EJABIS	EJABID	ヤコビのE関数
C/065	SIMP2S	SIMP2D	一次元有限区間積分 (不等間隔離散点入力) シンプソン1/3則
C/066	SIMPFS	SIMPFD	一次元半無限区間積分 (関数入力) シンプソン1/3則
C/067	MSIMPS	MSIMPD	二次元有限区間積分 (関数入力) シンプソン1/3則

分類コード	呼 び 出 し 名		プ ロ グ ラ ム 名
	単 精 度	倍 精 度	
C/068	MGAUSS	MGAUSD	二次元有限区間積分 (関数入力) ガウス積分
D/007	CJARTS	CJARTD	複素係数代数方程式 ヤラット法
D/008	CTRNCS	CTRNCD	複素超越方程式
D/009	NONLES	NONLED	非線型連立方程式
E/007	LA2QRS	LA2QRD	連立一次方程式 最小2乗解
G/026	HMTQRS	HMTQRD	複素共役行列の固有値、固有ベクトル QR法
G/027	GEIGNS	GEIGND	一般固有値、固有ベクトル QR法
I/008	CHBAPS	CHBAPD	チェビシェフ近似による有理関数
I/009	CHBCFS	CHBCFD	チェビシェフ近似による多項式
I/010	CONFRS	CONFRD	連分数による有理関数近似
Z/010	DAVIDS	DAVIDD	関数の極小化

(2) SSL.F-V4.L2で修正された項目

分類コード	呼び出し名	修 正 内 容 他
B/010	SID	・定数のセットの仕方を変更 代入文 → DATA文
B/011	CID	
B/026	CEP12S CEP12D	・演算時間短縮
D/002	FERRAS FERRAD	・一部解の桁落ちを除き、精度を up
F/003	SRKQ2S SRKQ3S SRKQ4S SRKQ5S	・ILL CONDITION の値を変更 (旧) $-1 \leq \text{ILL} \leq 10$: 正常に解が求まった時 $\text{ILL} \leq -2$: その時点でメインプログラムに戻る (新) $0 \leq \text{ILL} \leq 10$: 正常に解が求まった時 $\text{ILL} \leq -1$: その時点でメインプログラムに戻る
F/004	HAMPCD	・一部解が求まらなかった事があったのを修正

分類コード	呼び出し名	修正内容他
G/017	HOUSS HOUSD	<ul style="list-style-type: none"> ・重根を持つ場合も計算できるよう仕様変更 ・ILL の値の変更 (旧) $1 \leq \text{ILL} \leq 1800$ のとき、ILL の値だけ入力行列は実対称でない (新) $1 \leq \text{ILL} \leq 11175$ のとき……
G/019	HOUS2S HOUS2D	<ul style="list-style-type: none"> ・ILL の値の変更 (G/017 と同様)
G/025	THJACS THJACD	<ul style="list-style-type: none"> ・不用演算の除去 ・パラメータチェックの変更 (旧) $\text{EPS} \leq 0.0$ or $K > 100$ or $K < \text{NM2}$ のとき $\text{ILL}=30000$ (新) $\text{EPS} \leq 0.0$ or $K > 100$ or $K < \text{NM2}$ or $\text{MN} < 2$ のとき $\text{ILL}=30000$

(3) SSL . A - V3 . L10 で修正された項目

分類コード	呼び出し名	修正内容他
D/006	JARATA JARATB	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムミスがあったのを修正 (一部解が求まらない事があった)
F/003	SRKG2A SRKG2B	<ul style="list-style-type: none"> ・ILL CONDITION の値を変更 (旧) $-1 \leq \text{ILL} \leq 10$: 正常に解が求まった時 $\text{ILL} \leq -2$: その時点でメインプログラムに戻る (新) $0 \leq \text{ILL} \leq 10$: 正常に解が求まった時 $\text{ILL} \leq -1$: その時点でメインプログラムに戻る
G/017	HOUSA HOUSB	<ul style="list-style-type: none"> ・重根をもつ場合も計算できるよう仕様変更 ・ILL の値の変更 (旧) $1 \leq \text{ILL} \leq 1800$ のとき、ILL の値だけ入力行列は実対称でない部分をもつ (新) $1 \leq \text{ILL} \leq 11175$ のとき……
G/019	HOUS2A HOUS2B	<ul style="list-style-type: none"> ・ILL の値の変更 (G/017 と同様)
G/025	THJACA THJACB	<ul style="list-style-type: none"> ・収束判定にミスがあり、ループの可能性があったのを修正